

事業者名	(地独)鳥取県産業技術センター								
機器名	電界放出型走査電子顕微鏡								
写真									
特徴・用途	<p>電界放出型走査電子顕微鏡は、細く絞った電子線を照射し、試料表面から発生する2次電子、反射電子等を検出し、高倍率(数万～数十万倍)・高分解能(ナノメートルスケール)の観察・分析を行う装置である。機械部品、電子製品、化学製品に用いられる無機材料や有機材料の研究開発、マイクロメートルからナノメートルスケールの様々な工業製品開発・評価に用いられる。</p>								
設置場所	地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 機械素材研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成30年2月	0	0	1	0	0	0	1	2
	平成30年3月	12	0	8	7	18	0	3	18
	平成30年4月	13	1	4	14	43	4	5	28
	平成30年5月	15	0	8	20	58	7	7	42
	平成30年6月	10	0	3	9	41	3	5	20
	平成30年7月	14	0	0	16	60	4	9	29
	平成30年8月	10	0	0	6	14	0	4	10
	平成30年9月	11	0	0	3	7	0	10	13
	平成30年10月	14	0	1	8	29	1	7	17
	平成30年11月	13	0	2	8	22	6	12	28
	平成30年12月	19	0	4	11	45	5	18	38
	平成31年1月	15	0	5	11	57	1	10	27
	平成31年2月	13	0	2	8	44	2	5	17
平成31年3月	14	0	5	17	53	2	6	30	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・高倍率観察が容易になったことで、超硬工具の微細組織を観察するとともに分析も行うことができ、効率的な研究開発に臨むことができるようになった。 ・従来の電子顕微鏡でナノファイバーの観察は困難だったが、当該装置によりナノファイバーの形状評価が格段にしやすくなった。 ・これまでは県外の機関を利用していたが、県内に当該装置が整備されたことで利便性が向上した。鉄鋼材料の金属組織・元素分析・結晶方位解析を行うことができ、迅速な研究の進捗を図ることができた。 								
補助事業概要の広報資料	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-070koho.pdf								